

UC Berkeley への長期海外派遣

物理工学専攻 博士課程 1 年 岩崎 惇一

2014 年 9 月 22 日から 12 月 21 日までの 3 ヶ月間, University of California, Berkeley の Ashvin Vishwanath 教授の研究室を訪れ, 共同研究を行った. Vishwanath 教授の研究室では, 近年, 量子状態のトポロジカルな側面を中心に数多くの成果を上げており, 私が滞在した際にはトポロジカル超伝導体に関して共同研究を進めた. 私が東京大学において行っている研究テーマとは異なる電子物性の研究を行うことで, 自分の研究分野を広げること成功したと考えている. 3 ヶ月という滞在期間で研究を完成させることは残念ながらできなかったが, 帰国後も緊密に連絡を取り合い, 研究をこれからも進展させていくつもりである.

到着したばかりの頃には自分の英語力に多少の不安を感じていたが, 3 ヶ月の滞在中に様々なトラブルを解決する中で, 英語圏でも生き抜くことはできるだろうとの自信がついた. しかし, 人々とより親密になるためには英語をもっと上達させるべきだと感じたので, その点は今後努力したいと思っている.



ライトアップされた Sather Tower